



## インフルエンザが猛威をふるっています

### こまめに換気、うがい 手洗いの励行と 充分な睡眠を！！

3学期に入った途端、インフルエンザウイルスが蔓延し、1・2年生で学級閉鎖と学年閉鎖が相次ぎました。3年生は、今のところ閉鎖には至っていませんが、2月10日に大阪府の私学入試をひかえ、油断できない時期にあります。一度かかったからOKではなく、A香港型、B型など複数のウイルスが流行しているのが厄介です。

寒いけれど教室では休み時間に換気を心がけ、うがい、手洗いを忘れず行いましょう。インフルエンザは予防が一番！

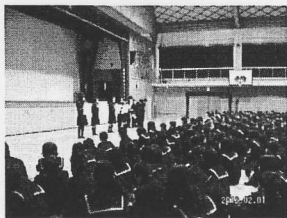
3年生は、体調管理が受験対策の大きなポイントです。



## 仲間の声に耳を傾け、真剣に考える時間を持ちました

### 2/1 今年度、最後の人権点検デーを行いました

二中では、学期に1回、クラスでお互いの思いを伝え合う時間を持っています。クラスや学年が居心地のいい場所になっているか、いやな思いや不安をかかえている友達がいいるか、仲間はずれやいじめがないか、お互いの仲間づくりが本当にできているのかどうか・・・真剣に話し合う日です。この日は生徒会、1年生、3年生、教師が全体集会でアピールを行い、その後、各クラスで話し合いを持ちました。卒業を前に3年生が、後輩に引き継いで欲しい思いを熱く語りました。成長した3年生の姿とその思いに胸が熱くなりました。人権点検デーの話し合いはクラスとして、うまくいかない場合があるけれど、毎回、毎回の積み重ねをくぐって子どもたちは大きく成長します。携帯電話やメールで、単語でしか会話しない最近の子どもたちにとって、お互いの思いを伝え合う貴重な時間となっています。



## 寒さに負けず、さわやかな朝のスタートを！

### 遅刻をなくそう！！



毎月2のつく日を「二中デー」と名付け、朝の始業前に職員が玄関前で「お早う！！」の声をかけをしながら、二中学生を迎えています。基本的生活習慣が整わず遅刻が常習化している二中学生がいますが、3学期に入って遅刻者がさらに増加しています。寒さ以上に自分に負けずに頑張ってください。

早寝・早起きの規則正しい生活をするのが、社会で自立して働くことへとつながります。習慣となつてつ力は絶大です。

## 卒業証書授与式のご案内



日 時:平成24年3月13日(火)  
午前9時30分 開式  
(9時20分に卒業生が式場に入場します)

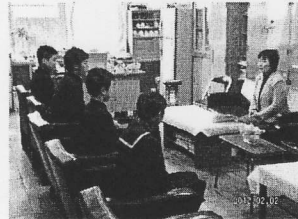
場 所 本校 誠心館(体育館)

※保護者の方は、午前9時15分までに体育館にお入り下さい。  
上履き(スリッパ)をご持参下さい。

## 3年生 入試・就職試験に向けて 校長面接を行っています

高校入試だけではなく、就職試験の際にも面接による選考が非常に重要視されるので、昼休みや放課後の時間を利用して、校長室で面接練習を行っています。一瞬の立ち居振る舞いで判断されてしまうのは厳しいけれど、「なぜ、この学校を志望しているのか」「どんな夢や進路への希望を持っているのか」「なぜ、この会社を選んだのか」「自分は、どんな仕事をしたいのか」をはっきりアピールし、人と向き合う時のマナーを常識として心得ていることが必要です。(あいさつ、返事、服装、姿勢・・・社会の中では身につけていて当然とされる力です。)

緊張しながらも一生懸命答えてくれる3年生の様子は、本当に好感が持てます。夢を持ってたくましく自分たちの将来を築いていって欲しいと思います。  
頑張れ、3年生！！



## 1/23 教育講演会から

### 「思春期の子供たちと向き合うために」

講 師: 水流 綾さん(社会福祉士 精神保健福祉士  
スクールソーシャルワーカー)

思春期という心と体の変化が最も大きい時期をくぐっている中学生に親としてどう向き合えばよいのかを中心にお話ししていただきました。

○まず、家庭でできること

- ◆等身大のわが子を受け入れること・・・期待、思いを大切に温めながら現実と向き合う。(親のものさしではかかってしまいがち・・・)
- ◆子どもの言動を理解してみようとして少しだけ努力する。  
本気で接する時間をわずか3分でもつくる。  
保護者と子供は別の人間であることを理解する。発達にも凹凸がある。
- ◆自分が認められ、尊重されていると子どもの自己肯定感が育つ。自己肯定感が育つと前進する力が育つ。  
本人の状況に合わない親の欲求が続いたり、怒られたりし続けると自己肯定感が低下する。→「どうせ、俺なんか・・・」
- ◆親業はたいへん、試練・・・親が親になるための山。  
だからこそ、一人で乗り越えるのではなく、周りの誰かとつながっていく。  
子どもも一人にならないように、身近にいる家族がつながりを保つこと。

○保護者も一人で悩んでいないでスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーに相談して下さい。